

令和7年度

すみれ

大関小学校だよりNo.10
令和8年1月8日

本年もよろしくお願ひいたします

校長 岸本 政和

新年明けましておめでとうございます。いよいよ2026年がスタートしました。新たな決意とやる気を胸に、元気いっぱい、笑顔いっぱい登校してくる子どもたちを見て、私自身も「負けていられないぞ！」という気持ちになりました。

今年は午（うま）年です。馬と言えば、エネルギーで自由に放牧された動物というようなイメージがしますが、「明るく社交的」だと言われています。また、「自由を愛し、行動的」なタイプで、「楽観的で人気者」なのだと思います。子どもたちには、今年も、ぜひ午（馬）のように、周りの人と仲良く、いろいろなことにチャレンジして、失敗を恐れない、誰からも慕われるような年にしてほしいと思います。



さて、今日から令和7年度の3学期が始まりました。「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」とよく言われますとおり、大関小学校の授業日数もわずか50日しかありません。3学期は、次年度につなげる大切な学期でもあります。子どもたちには、1日1日を大切にして有意義な学校生活を送ってほしいと思います。今年度のまとめをしっかりと行い、子どもたちが、進級、進学への見通しをもち、不安を和らげ、期待を胸に新学期を迎えるよう、私たち教職員が一丸となって指導、支援してまいります。

子どもたちが、胸を張って進級、進学できるように、保護者の皆様、地域の皆様、今年も絶大なるご支援とご協力のほどをよろしくお願ひいたします。

校長の冬休み ~新年からどうでもいいような話で申し訳ありません~

私の出身は宮崎県延岡市という所です（なぜ新潟にいるの？というお話はまたの機会させてください…）。

結婚した頃（20年くらい前？）から、冬休みだけは実家に帰省するようにしています。父親を早くに亡くし、実家には昭和13年生まれの母親しかおりません。このくらい話をすると、だいたいの人に「母親ひとり残して、なんてお前は親不孝者なんだ」と言われますが、いろいろと母子会議した結果、離れて暮らしています。

若い頃は、「お金がない」「仕事が忙しい」などと理由を付けては、ほとんど帰省しませんでした。母親も高齢となり、今頃になってかもしれません、親孝行できるうちに少しでもできることをと、クリスマスの頃に新潟を出発し、正月の2日には新潟へ戻るというような帰省（家族旅行？）が年中行事となっています。

ところが、コロナ禍の影響や子どもが大きくなってきてからは、家族全員で帰省することが減ってきました。

特に今年は、長男は大学受験、長女は高校受験、妻は受験生たちに付添うとくると、次男（小5）は母親と一緒に居るということで、今年は私だけで帰省することになりました。どうせならしっかり親孝行して来るぞ！？ということで、冬休みをほぼ使って帰省してきました。親孝行といっても、母親1人ではできないような電球交換・換気扇掃除などの高所作業や、墓参り・親戚宅へ挨拶・買い物など遠方への運転手程度ですが、少しでも役に立てたかなと自負しています。

交通手段は自家用車とフェリーとなりますので、移動で滞在日数は減りますが今年は下のような行程でした。

12/25（木）燕市出発 9:00～神戸港発 19:00～12/26（金）西大分港着 6:20～実家到着 10:00

1/5（月）実家出発 12:00～志布志港発 18:20～1/6（火）大阪南港着 7:40～燕市到着 16:30

Google マップやカーナビで調べるのは簡単ですが、実際に移動すると片道丸1日かかることがあります。

では、なぜ私は新潟にいるのか？ それはまたの機会のお話とさせてください。